

◆第3章 計画の方向性（基本理念・基本目標・目指すべき将来像・基本方針）について

項目	意見の概要	対応												
基本理念 ～ 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>1の「基本理念」をもう少し具体的に示したものが、3の「目指すべき将来像」ではないか。この「目指すべき姿」を実現する基本的な施策の方向性として、2の「基本目標」を重点的にやっていくことを示して、それを具体化したものが4の「基本方針」になるという整理が分かりやすいと思う。（秀田委員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下のとおり文言及び順序を整理。【原案 p35～39】</li> </ul> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">(素案)</td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="text-align: center;">(原案)</td> </tr> <tr> <td>1 基本理念</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">➡</td> <td>1 基本理念</td> </tr> <tr> <td>2 基本目標</td> <td>2 目指すべき将来像と基本施策</td> </tr> <tr> <td>3 目指すべき将来像</td> <td>3 取組方針</td> </tr> <tr> <td>4 基本方針</td> <td></td> </tr> </table>	(素案)		(原案)	1 基本理念	➡	1 基本理念	2 基本目標	2 目指すべき将来像と基本施策	3 目指すべき将来像	3 取組方針	4 基本方針	
(素案)		(原案)												
1 基本理念	➡	1 基本理念												
2 基本目標		2 目指すべき将来像と基本施策												
3 目指すべき将来像		3 取組方針												
4 基本方針														

◆第4章 施策の展開について

項目	意見の概要	対応
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化も含めて環境問題はボーダーフリーであるということも意識して、関連自治体などと連携体制を取っていくという姿勢も入れておくべき。（大場委員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水環境の保全が上流域から下流域、海洋まで一体として取り組む必要があるように、市町村や県域を越えた一体的な環境保全対策に取り組む旨記載。【原案 p66】</li> </ul>
目標数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標数値を設定することで何が実現されるのか、この目標数値を達成しないとどのような困ったことが起こるのか、あるいは最終的にはここまで増やしたいが、今回の計画期間ではこれぐらいであれば実現できる、という形で示してはどうか。（秀田委員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>達成目標及び管理指標の備考欄に、目標設定の根拠等を記載。【原案 p47 ほか】</li> </ul>
コラム・用語集	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般県民が見た時に、コラムが一番理解しやすくて分かりやすい部分だと思うので、たくさん取り上げてもらいたい。写真を入れてもらえると、見る人に興味を持って見ていただけたらと思う。（伊藤委員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民になるべく分かりやすく、親しみやすい内容となるよう写真や挿絵を交えた多数のコラムを掲載。【原案 p5 ほか】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ナッジ」と書いてあり、一般の方が読んでも分かりにくいと思われるが、簡単に言うと「自発的に良い選択が取</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容が重複しないよう表記を修正。【原案 p67】</li> </ul>

	れるように手助けする手法」ということで、同じ内容が重なっている。(広瀬委員)	
脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般家庭では「J (ジュール)」という単位にあまり馴染みがないが、炭素がどれだけ減ったかということを見てもらった方が分かりやすいため、炭素の排出量を併記してはどうか。(小林委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>達成目標を「家庭1世帯あたりエネルギー消費量 (J)」から「家庭1世帯あたりエネルギー消費量の削減率 (%)」とし、2017比で9.7%減に変更。【原案 p47 ほか】</li> <li>9.7%減を二酸化炭素排出量 (炭素) に置き換えると、691kg-CO<sub>2</sub>に相当する旨コラムに追記。【原案 p77】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期投資はかかるが、警察も含めて岐阜県が率先して、公用車を燃料電池車にしていけば、移動に使う分には二酸化炭素がフリーになる。予算もかかるが、目に見えて二酸化炭素が削減できた、ガソリンがこれだけ削減できたという、経済効果と環境負荷低減の両方にメリットがあるのではないか。(佐治木委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県自ら積極的な導入を推進するため、警察・教育委員会を含め、県機関における車両更新のあり方を検討する旨記載。【原案 p44】</li> </ul>
気候変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからよく使うであろう「レジリエンス」や「パラダイムシフト」という言葉の説明も入れながらでないと、防災や気候変動の言葉の意味や使い方が分からなくなるので、コラムの中に言葉の説明みたいなものも入れていただくとうれしい。(小林委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画中の「用語解説」において、計画中で用いられた難解な用語について解説。【原案 p88～101】</li> </ul>
海洋ごみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜には海がないのに、なぜ海のことを考えるのかと疑問に思った。これだけ山と川に恵まれているならば、徹底的に川を美しくすると、岐阜オリジナルに強く明言しても良いのではないか。(奥村委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラスチックを含む海洋ごみ対策の推進に、「街や川」を清掃する旨追記。【原案 p51】</li> <li>県内で発生したごみの一部が河川を經由し、伊勢湾等の海に流れ込んでいることを県民に理解いただけるよう、コラムで説明。【原案 p55】</li> </ul>
林業	<ul style="list-style-type: none"> <li>「達成目標」に「新規林業就業者数」の計画は、里山の保全を目的とした指標だと思うが、環境側では計画に書いて打ち出している一方で、林政側ではそのようなことを言われても難しい、ということがないよう情報共有しながら目標値を出していただきたい。(広瀬委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林政部と情報共有を図りながら目標や取組を設定。【原案 p60 ほか】</li> </ul>

生物 多様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県固有の種が絶滅危惧種も含めてたくさんあるが、岐阜県に住んでいながらも、身近な固有種を守る意識が少ないと思っている。県の固有種を認識し、守って増やす意識や取組を明言しても良いのではないか。(奥村委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県固有種に関する記載を追加。【原案 p59】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野生鳥獣による被害防止として、どうしても淘汰しなければならない動物が出てきた場合、環境保護の取組の1つとして、道の駅や焼肉チェーン店と協力をして、殺傷されたものを無駄にしないという宣伝も非常に大きな効果があるのではないか。(佐治木委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジビエに関する記載を追加。【原案 p59】</li> </ul>
災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公用車を燃料電池車に変えるメリットとして、災害が起きたときにそれぞれの地域で電源として使うことができる。平時は車として動かしておき、非常事態の時に電源として使って、県民にフィードバックしていけば良いのではないか。水害、地震、その他諸々の災害が起きても大丈夫だという「状態」に持っていければ、非常に大きなアピールになるのではないか。(佐治木委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代自動車は災害時の非常用電源として活用できることを踏まえ、県自ら積極的な導入を推進するため、警察・教育委員会を含め、県機関における車両更新のあり方を検討する旨記載。【原案 p44】</li> <li>・あわせて、次世代自動車が災害時に電源として使用可能な旨をコラムで紹介。【原案 p78】</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害がよく起きている中で、毎年同じような場所で災害が起きているということも考えると、住む場所を安全なところへ移動していただくことが必要ではないか。「達成目標」の「立地適正化計画策定市町村(累計)」は、最終的な目標が全市町村になるということは分かるが、最初から全市町村とした目標にすべきではないのか。最初から100%を目標として掲げるものと、そうではないものは区別していくべきと考える。(広瀬委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能なまちづくりを推進する方法には、市町都市計画マスタープランやその他計画など多くの手法があるが、立地適正化計画は市町の公共交通や基盤整備の状況等に応じてコンパクト+ネットワークによる持続可能なまちづくりを推進する計画。</li> <li>・県内42市町村中「都市計画区域」を有する38市町において策定が可能な計画で、現在38市町中5市が策定済み、4市町が取組中。このため都市の状況を勘案し2023年までに10市町村まで引き上げることとしている。</li> <li>・また、河川環境基準など100%を目標として掲げるものと、温室効果ガス排出量など最終目標年次が2025年度より先に</li> </ul>

		設けられているものについて、備考により設定の根拠等を示し区別。【原案 p47 ほか】
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ後のライフスタイルの変化の波は子どもたちにも押し寄せており、映像など色々な要素を取り入れた形の資料提供も次世代の人づくりの大事な要素ではないか。(加藤委員)</li> <li>・副読本の説明や講演会が自動的に端末から聞ける仕組みや、それぞれの学齢・学年に合わせてレベルを変えながら聞けるような仕組みができると良い。(佐治木委員)</li> <li>・ポータルサイトで、県内の環境保全活動や環境教育活動などの情報に紐づけられており、参加の申込みができると良い。さらに、活動に参加すると「岐阜SDGsポイント」が付与され、県内のSDGsの推進に協賛している地域や商店で使えるようになると、環境と経済が両輪で回っていくような流れができるのではないか。(廣中委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに構築する予定の「環境学習ポータルサイト(仮称)」において、環境副読本の説明等を動画やアニメーションなどデジタル技術を用いて楽しく・分かりやすく提供するとともに、環境保全活動や環境教育活動に取り組みやすくなるような仕組みを検討し、環境保全活動への参加を促していく。【原案 p66】</li> </ul>
人づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5次では、環境学習としての出前講座、生物多様性に関する講習などに取り組んでいるが、環境問題や環境審議会を抱えているような課題の解決につながっているのか疑問である。第6次でも、重点項目が挙げられているが、課題などとリンクするような講座や仕掛けを作っていないと空振りになってしまうのではないか。(大場委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜大学と協働で次世代育成プログラムの中で環境に関する講座を立ち上げるなど、計画で整理した課題の解決に対してより効果的な講座や仕掛けとなるよう工夫していく。【原案 p66】</li> </ul>
各主体に期待する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「各主体に期待する取組」という部分は大変良い試みだが、さらに効果的にするには、数値や定量的なものでもう1段階み込んでどうか。コラム的にでも試みてみると良いのではないか。(秀田委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数値や具体的な事例を交えたコラムを追加。【原案 p77、79】</li> </ul>

◆第5章 計画の推進について

項目	意見の概要	対応
計画の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の突発的な変化に対して、私たちがどう向き合うのか、どう考えるのかまで踏み込んで、5か年の計画を立てて終わりではなく、この5年の先に何があるのか分からないということも、言葉を入れてはどうか。(奥村委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後予想される新型コロナウイルス感染症の状況を含め、社会情勢や環境を取り巻く状況に大きな変化が生じた場合などは、随時見直しを実施。【原案 p87】</li> </ul>